



昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性の方

風しん抗体検査は 受けましたか?

無料検査・
予防接種は
令和7年3月31日
に終了します!

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性は、風しんの予防接種を公的に受ける機会がなかったため、風しんにかかりやすく、周囲の人たちに広めてしまう可能性があります。

そこで、厚生労働省の「風しんの追加的対策」として、令和元年度から令和7年3月31日までの期間で抗体検査および風しん予防接種(検査の結果、必要な方のみ)を実施しています。

次世代を担う子どものため、妊婦に感染させないため、風しんの流行を防ぐことが必要です。風しんの流行を防ぐためには、より多くの方に抗体検査を受けていただき、必要な方が予防接種を受けることが大切になりますので、対象となる方はぜひご検討をお願いします。

風しんとは… 風しんは、風しんウイルスによって引き起こされる急性の発疹性感染症で、風しんへの免疫がない集団において、1人の風しん患者から5～7人にうつす強い感染力を有します。感染後2～3週間の潜伏期間の後、発熱、発疹、リンパ節の腫れなどの症状が出ます。症状は、不顕性感染(無症状)から脳炎や血小板減少性紫斑病(出血しやすく止まりにくい)など、重い合併症併発まで幅広く、特に成人で発症した場合、高熱や発疹が長く続いたり、関節痛がひどいことが多く、小児より重症化することがあります。中には、1週間以上仕事を休まなければならなかったケースもあります。

また、妊娠初期の女性に感染させてしまうと、生まれてくる赤ちゃんの目や耳、心臓に障害(先天性風しん症候群)が出ることもあり、その確率は、妊娠1カ月でかかった場合50%、妊娠2カ月の場合は35%とされています。2012～2013年にも風しんの流行がありましたが、その際には国内で「先天性風しん症候群」の赤ちゃんが45人確認され、うち11人は生後1年3カ月までに亡くなっています。妊娠中の女性は予防接種を受けられないため、風しんにかからないよう注意していただくとともに、周りの人も感染しないよう予防が必要です。

～ 検査および予防接種の流れ ～

1 検査場所を決め、予約をとる

検査場所は、下記のいずれかをお選びください。

- ▶ 職場健診や人間ドックと同時に受ける
- ▶ 医療機関で受ける

2 検査を受ける(血液検査)

クーポン券と本人確認書類をご持参ください。
(クーポン券は令和5年3月に送付済み)



検査の結果、抗体価が低かった方のみ

3 予防接種(麻しん風しん混合ワクチン)を受ける

クーポン券と本人確認書類をご持参ください。

＼ こんなにお得! ／

抗体検査も予防接種も無料で受けられます!

自費で受けると…

- 抗体検査…約1,500円～7,500円
※検査方法、検査機関、検査時間によって差があります。
- 麻しん風しん予防接種…約10,000円

市内の抗体検査・予防接種実施医療機関や、検査、予防接種の受け方等、詳細については市ホームページをご覧ください。



牛久市 風しん抗体検査 検索